

園内施設のご案内

高田城三重櫓 Tel. 025-524-3120 (歴史博物館)

上越市発足20周年記念事業として平成5年(1993年)に再建しました。1・2階が高田城に関連する展示を行う展示室、3階が展望室になっています。
入館料:個人一般310円、小学生から高校生まで160円



歴史博物館 Tel. 025-524-3120

「越後の都」をテーマに安土桃山時代以降の上越の歴史を紹介しています。1階ラウンジや屋上デッキは、どなたでも無料でご利用いただけます。
観覧料:個人一般510円、小学生から高校生まで260円

小林古径記念美術館 Tel. 025-523-8680

小林古径および上越市ゆかりの作家の作品を中心に、年4回の企画展を開催します。
国登録有形文化財・小林古径邸とあわせて見学できます。
観覧料:個人一般510円、小学生から高校生まで260円

上記3施設共通の施設情報

休館日:月曜日(月曜日が祝日のときは翌日)
祝日の翌日、12月29日~1月3日
開館時間:午前9時~午後5時 詳しくは各施設に
(12月~3月は午前10時~午後4時) お問い合わせください。

高田図書館・小川未明文学館 高田図書館 Tel. 025-523-2603 小川未明文学館 Tel. 025-523-1083

図書館の1階にある小川未明文学館では、「赤い蜃鱗と人魚」、「野ばら」などの代表作をもつ上越市出身の童話作家で日本近代童話の父と呼ばれる小川未明の業績や生い立ちなどを紹介しています。
休館日:月曜日(月曜日が祝日のときは翌日)
祝日の翌日、12月29日~1月3日
開館時間:午前10時~ 閉館時間は季節・曜日により異なります。

体育施設 高田スポーツセンター Tel. 025-524-6119

高田スポーツセンター(体育館・柔道場・相撲場)、弓道場、陸上競技場、野球場、庭球場があります。
利用期間・利用時間・使用料については、各施設により異なります。

市民交流施設高田城址公園オーブンプラザ Tel. 025-525-1311

多くの市民や来訪者が集い、語らい、活動・交流できる場として平成29年(2017年)9月に開館しました。陶芸室、創作室、調理実習室などの公民館機能、606席の多目的ホールのほか、一時預かり室を併設したプレイルームのあるこどもセンターなどがあります。
休館日:第2・4火曜日(休日のときは翌日)、12月29日~1月3日
開館時間:午前8時30分~午後10時
(こどもセンターは午前8時30分~午後5時)

交通のご案内



- えちごトキめき鉄道高田駅から徒歩約15分
- 上信越自動車道上越高田I.Cから車で約10分
- 北陸自動車道上越I.Cから車で約15分
- 駐車場/園内に約850台(身障者用27台)
※通常無料にて開放(観桜会時を除く)



- 公園内の各施設は大切に扱ってください。
- 公園内にはゴミ箱がありません。ゴミはお持ち帰りください。
- たき火や花火などの火を使う行為はできません。
- 他の公園利用者に迷惑となる行為はしないでください。
- 催し物の開催、物品の販売などを行う場合は、申請が必要となりますので、ご相談ください。

高田城址公園の一部は、財務省関東財務局より国有地の無償貸付を受けています。

お問い合わせ

上越市 都市整備部 都市整備課
〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号
TEL:025-526-5111(代) FAX:025-526-6112
E-mail:toshiseibi@city.joetsu.lg.jp

高田城址公園の概要



高田城址公園は、徳川家康の六男、松平忠輝公の居城として慶長19年(1614年)に築城された高田城の跡に造られた公園で、昭和25年(1950年)、上越市(当時高田市)の都市公園第1号として供用が開始されました。面積は約50haあり、全体が新潟県の史跡に指定されています。市街地の中心部に位置する広大な公園は、市民が誇れる貴重な財産となっています。

また、高田城址公園は、日本の歴史公園100選とさくらの名所100選の地に指定されています。

季節のもよおし

高田城址公園観桜会



公園やその周辺を含めて約4,000本の桜があり、春を待ちかねた市民はもとより、全国各地からの花見客で賑わいます。夜になると三重櫓と桜がぼんぼりの明かりに映え、お堀の水面にうつる様は、弘前公園、上野恩賜公園と並び、日本三大夜桜の一つにも数えられ、よりいっそうの華やかさにつつまれます。

【開催期間】 3月下旬から4月中旬

高田城址公園観蓮会



【開催期間】 7月中旬から8月下旬

公園の外堀は周囲が約4km、面積は約19haにも及びます。外堀のほとんどを埋め尽くす蓮は、その規模・美しさから東洋一といわれています。

園内紹介

① 極楽橋

平成14年(2002年)に開園50周年及び市制30周年を記念して復元されました。当時の面影を可能な限り再現するための“伝統的な工法”と、安全性を確保するための“近代的な工法”を併用しています。



② ブロンズプロムナード

当市にゆかりのある、また趣旨に賛同して頂いた、佐藤忠良などの芸術家の作品16基と「岩野勇三ブロンズコーナー」からなっています。



上越市出身の彫刻家である岩野勇三ブロンズコーナー

③ 桜見本園

「高遠小彼岸桜」や「思川」など全国の珍しい桜を楽しむことができます。



④ 芝生広場

広い芝生広場でお弁当を食べることができます。また、子どもたちに人気のふわふわドームやザイルクライミングもあります。



高田城址公園の魅力を紹介するよ!

上越市PRマスコット「上越忠義隊けんけんず」



豆知識①

旧陸軍第十三師団の面影
旧陸軍第十三師団が建設したレンガ造りの門



現在の公園の地形は、旧陸軍第十三師団の入城に先立ち、明治40年(1907年)、土塁の大半を崩し堀を埋め立ててできたものであり、園内には赤レンガ造の門や園路のロータリーなど当時の面影が残っています。

高田郵便局

外堀も散策してみよう!



豆知識② 開花宣言 調査木

高田城址公園の桜の「開花宣言」をするための調査木です。開花宣言のための調査・観察は、高田城址公園の桜の保全活動を行っている市民団体がを行っています。樹齢は100年以上とされています。



本丸の土塁の高さは約10mもあるんだよ。

おすすめ散策ルート



【駐車場のご案内】
第1～第8駐車場まで約850台(身障者用27台)

おすすめ散策ルート 所要時間



豆知識③ 高田城址公園の桜と蓮の始まり

桜は、明治42年(1909年)に旧陸軍第十三師団の入城を記念して、在郷軍人会により、2,200本植えられました。蓮は、明治4年(1871年)に戊辰戦争や凶作により貧窮した高田藩の窮状を救うために植えられました。現在は、多くの方が心地よいと感じる景観として、桜と蓮を上越市の「景観資産」に特定しています。

フォトポイント① 「西堀から望む山並み」

西堀にかかる赤い橋と残雪の山並みのコントラストがとても美しい人気の撮影ポイントです。桜や蓮の咲く時期もおおすすめです。



フォトポイント② 「さくらロード」

満開になると桜のトンネルとなり、より多くの来園者で賑わいます。観覧会時はライトアップされ、より幻想的な空間になります。



秋の紅葉時もgood!